

# ごみ処理広域化についてお知らせします

盛岡広域8市町（盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）は、令和11年度からのごみ処理の広域化を目指し協議をしています。

【問】ごみ処理広域化推進室 ☎613-8146 【広報 | D】1020646

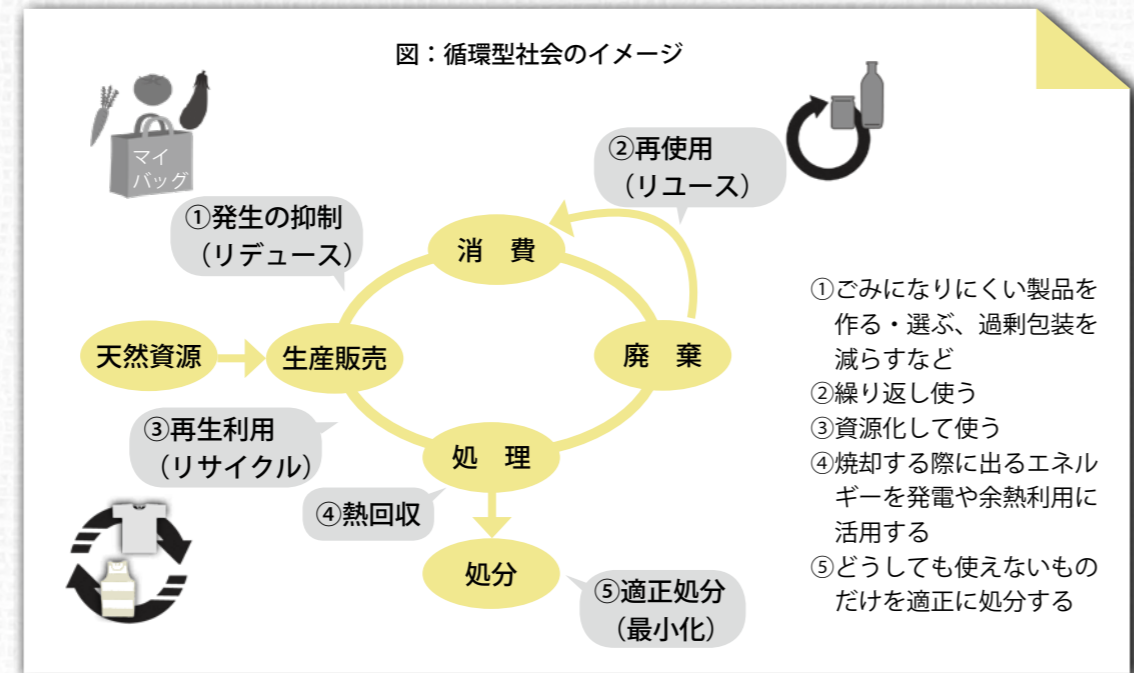
## ごみ処理広域化のこれまで

盛岡広域8市町が進めているごみ処理広域化のこれまでの経緯や現在のごみ処理の課題などをお知らせします。

### ごみ処理広域化とは

日常生活や事業活動に伴い発生する不要物をできるだけ、「発生の抑制（リデュース）」「再使用（リユース）」「再生利用（リサイクル）」すること（＝3R）が、地球環境に優しい「循環型社会」の形成のためにとても大切です。しかし、これらの3Rの取り組みを進めても残ってしまう「ごみ」の処理が必要になります。現在、盛岡広域8市町のごみは各市町などが処理していますが、将来の人口減少などにも対応しながら、最適なごみ処理体制を目指していく必要があります。

ごみ処理の広域化は、各市町が連携して3Rを推進するとともに、処理施設を集約化し共同処理を進めるなど、効率的で環境負荷の低減が図られたごみ処理を目指す取り組みです。



### ごみ処理広域化のきっかけ

国は平成9年に、ごみ焼却施設から発生するダイオキシンなど有害物質の発生を抑制するため、市町村のごみ焼却施設を集約化を進めるよう県に通知しました。これを受けて岩手県は、平成11年3月に「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定。県内を6ブロックに分け、盛岡広域8市町は「県央ブロック」として位置づけられました。

盛岡広域8市町にある6つのごみ焼却施設では、ダイオキシン類の削減など環境対策は完了していますが、共同でごみ処理を行うための協議を進め、平成27年1月に「県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想」（以下、「基本構想」という）を策定しました。基本構想では、現在の6つのごみ焼却施設の老朽化への対

応として、6施設を更新する場合と1施設に集約する場合を比較し、費用や環境影響の低減が期待される1施設集約化を目指すこととしました。

表1 8市町の焼却施設と対象地域など

施設名	対象地域	稼働開始年	1日あたりの処理能力
盛岡市クリーンセンター	盛岡市	平成10年	405ト
盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター	盛岡市・紫波町・矢巾町	平成15年	160ト
岩手・玉山清掃事業所	盛岡市・岩手町	平成8年	28ト
滝沢清掃センター	滝沢市・雫石町	平成14年	100ト
八幡平市清掃センター	八幡平市	平成10年	50ト
葛巻町清掃センター	葛巻町	平成5年	10ト
処理能力合計			753ト

費用比較など詳しくは、市公式ホームページに掲載している基本構想をご覧ください



令和11年度の可燃ごみ排出予想量を基に、必要処理能力を算定すると、1日当たり500ト（災害廃棄物の受入処理量50トを含む）となります

施設を集約することで、これからは効率的にごみを処理することができるようになるんだね

※1 岩手県毎月推計人口より  
※2 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口から試算

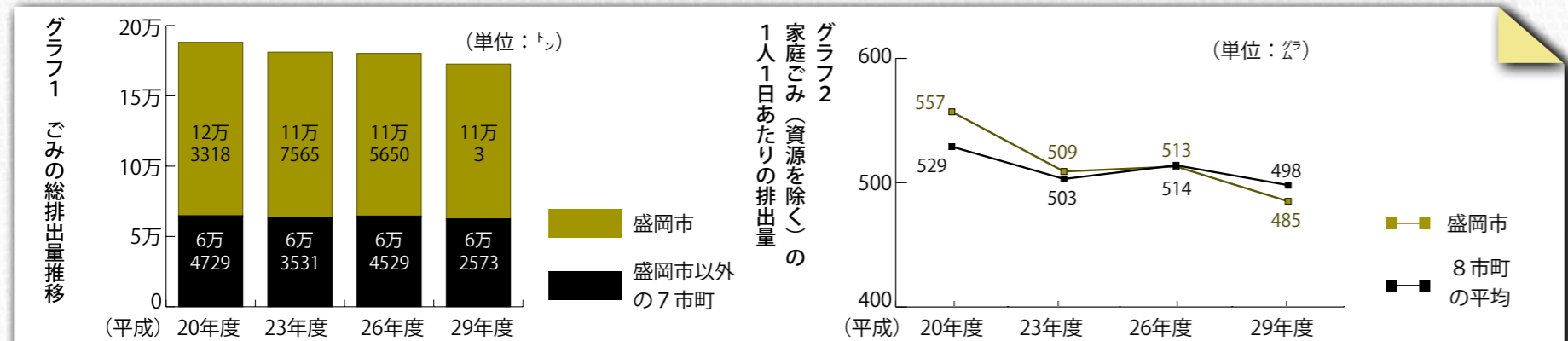
から16～26年が経過し、経年劣化により維持補修費が年々増えています。

盛岡広域8市町の人口は約47万人（平成30年10月時点※1）ですが、令和11年には約42万9000人、令和21年には約38万8000人となり、21年間で、約8万2000人（約17%）の人口減少※2が見込まれています。このことから、効率的な運用にも十分に配慮しながら、ごみ処理を行っていく必要があります。

### ごみ処理の課題

盛岡広域8市町は、ごみの減量・資源化への取り組みを進めています。地域住民の協力もあり、この10年間のごみの排出量はグラフ1・2のとおり減少していますが、3Rの推進のためには、さらなる取り組みが必要です。

また、可燃ごみを焼却する設備は次第に劣化していきます。例えば、盛岡市クリーンセンターは、設備の性能を維持するため、平成13年度から平成30年度までの18年の間に約49億円の改修工事費を支出しています。盛岡広域8市町の他の5施設についても、稼働



一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）より

### 盛岡市に建設する理由

盛岡市の人口は8市町の62%を占め、ごみの排出量も64%を占めています。また、盛岡市は広域8市町のほぼ中央に位置し、ごみを持ち込む利便性や運搬などの効率性に優れていると判断しました。

距離が離れている市町のごみは、中継施設でまとめてから運搬することで、作業効率が高まります



## 皆さんの質問にお答えします

よく寄せられる質問にお答えします。

### Q1 建設予定地の選定はどのように進めてきたの？

A1 平成27年から「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」が13回の検討を行い、浸水想定区域や土砂災害危険箇所を避けるなど、さまざまな要件に基づき、466カ所の対象地から3カ所を選定。それに加え、誘致要望があった1カ所（盛岡南インターチェンジ付近）を追加し、8市町の市・町長で構成している「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」で、平成29年5月に整備候補地4カ所を選定しました。その後、住民説明会などで地域住民と話し合いを進め、平成31年3月に開催した同協議会で、各地域住民や関係者の意見、地権者の状況や整備費用などを総合的に判断し「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地としました。現在も引き続き、住民説明会や懇談会などで、最有力候補地周辺の住民や関係者との話し合いを重ねています。



ごみ処理作業の見学

環境を考えるイベントの見学。読まなくなった絵本の交換会

候補地選定について詳しくは、市公式ホームページに掲載している同協議会の結果をご覧ください



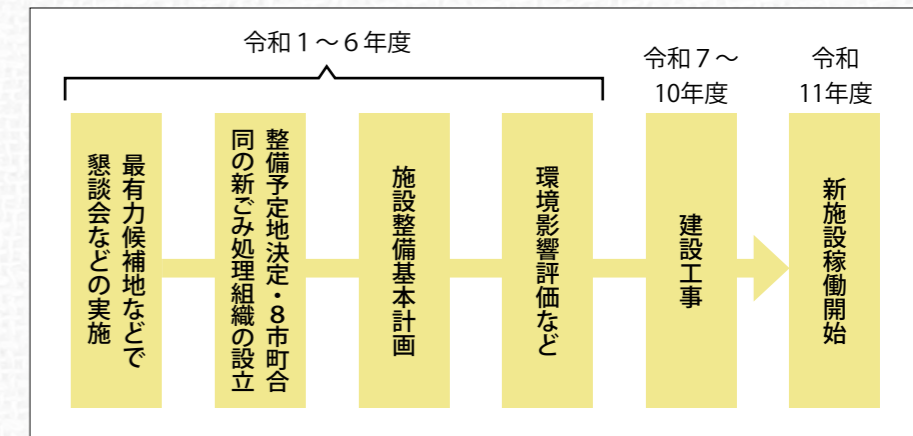
地域の皆さんと、県外4市のごみ処理施設を見学しました。施設周辺に住宅街が広がり、ショッピングセンターもあるなど、盛岡インターチェンジ付近に立地条件が似ているところもありました



### Q2 新しい施設が稼働するまでの今後のスケジュールを知りたい。

A2 スケジュールは右の図のとおりです。引き続き、進行状況などを皆さんにお伝えしながら、新しい施設稼働に向けて取り組んでいきます。

図 焼却施設稼働までのスケジュール（予定）



### Q3 焼却施設周辺の環境汚染や健康被害が気になる…。

A3 盛岡市クリーンセンター周辺と市内の別の地点では、施設ができた平成10年から現在まで、大気中の化学物質を測定しています。同クリーンセンターでは、地域住民との協議により、国が定める排出基準よりも排出濃度を低く設定した、より厳しい基準を定め、施設の運転管理を徹底しています。表2のとおり、各地点での測定結果に大きな差はなく、国の環境基準も下回る結果となっています。新しい施設でも、独自に設定する排出基準を遵守しながら、施設の運転管理をしていきます。

ごみ焼却施設が公害や健康被害の原因ではないかの質問が寄せられますが、そのような事例を市内では確認していません。総務省が設置する「公害等調整委員会」においても、ごみ焼却施設が公害や健康被害の直接の原因と認められた事例報告はありません。

全国には1103カ所のごみ焼却施設（平成29年度時点）がありますが、焼却施設が原因となる健康被害は確認されていません



## 目指すは持続可能な循環型社会！

盛岡広域8市町は、人口減少への対応や効率的なエネルギー利活用推進、将来も維持していくことのできる適正処理の確保に向けて、これからも広域化の協議を進めていきます。8市町で、ごみの減量や資源化の目標値、目標達成に向けた施策などを協議し、これを実践していくなど、連携して3Rの取り組みを推進していきます。

### 【担当】

ごみ処理広域化推進室  
住所：〒020-8531  
若園町2-18盛岡市役所  
若園町分庁舎3階  
電話：☎613-8146  
ファクス：626-4153

